

第5節 文化課

〔総括概要〕

文化課の主な分掌事務は、文化振興関係事業、文化財保護関係事業及び学芸推進関係事業である。

文化振興関係では、本市の文化芸術の基本的な考えを示し、体系的な施策の展開を図るため文化振興計画の策定を進めるとともに文化振興推進制度を制定した。また、俳句を通して小中学生の豊かな心を育むとともに、本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰することを目的として、第23回山本有三記念「路傍の石」俳句大会を実施した。さらに、各種文化団体が開催する展覧会・演奏会等の後援等を行い、その活動を支援した。栃木文化会館については、民間事業者の能力を活用して地域住民に対するサービス向上に努めるとともに、自主事業を開催して市民の教養を高め芸術文化の振興に努めた。また、平成25年度は指定管理者による運営の最終契約年度となり、文化会館のより効率的・効果的な運営を目指すため、市内4館の一括した指定管理者選定を行った。

文化財保護関係では、埋蔵文化財の保護、指定文化財の管理強化、文化財の調査、文化財の資料収集保管、文化財愛護の啓発イベントなどを開催した。また、市内にある文化財保護施設の管理運営等を行った。特に、年々増加する開発に対して調査・回答の充実を図った。

学芸推進関係では、平成21年4月から指定管理者制度を導入したとちぎ蔵の街美術館については、民間事業者の能力を活用して地域住民に対するサービス向上に努めるとともに、各種企画展、展覧会や講演会等の付帯催事、公演、イベント等の事業を開催して市民の知識及び教養の向上に努めた。また、市の芸術文化を市民に紹介するため、市ゆかりの美術工芸作品の購入及び寄附の受け入れを行った。

喜多川歌麿関係では、「吉原の花」の高精細複製画を制作し、その完成を記念したイベントを開催し、市の歌麿を中心とした文化・芸術のまちづくりについて、広く市内外に周知した。また、歌麿と栃木の関わりについて、より多くの方々に知っていただくため、市民団体等と協働で歌麿まつりを開催した。

文化振興担当

1 文化振興関係

(1) 栃木市文化振興計画策定

本市の文化芸術の基本的な考えを示し、体系的な施策の展開を図るためワーキンググループ、策定部会、検討委員会を組織し文化振興計画の策定を進めた。平成25年度は、ワーキンググループで計画の素案を作成し、策定部会、検討委員会において素案の検討を実施した。

ア ワーキンググループ

栃木市の特色があり実効性の高い計画とするため、市民を構成員とするワーキン

グループを設置し、計画の素案を作成した。

- ・開催回数 11回

イ 文化振興計画策定部会

栃木市総合計画に係る教育委員会内関係課等の職員により構成し、計画の素案を検討した。

- ・開催回数 3回

ウ 文化振興計画検討委員会

学識経験者、文化芸術関係団体や社会教育団体の代表者、公募委員等により構成し、計画の素案を検討した。

- ・開催回数 3回

(2) 文化振興推進制度

地域に根ざした個性豊かな文化を継承するとともに、それを更に発展させ、市民協働による「文教・文化都市」を目指すための制度を制定した。

ア 栃木市文化大使の委嘱

市の文人若しくは墨客又は歴史、文化遺産等について造詣が深く専門的な助言や講話ができ、本市と縁のある方を文化大使として委嘱し、本市の文化面の魅力を情報発信するとともに、文化的遺産や文化活動に対して助言、指導をいただくことにより市における文化振興を図る。

- ・委嘱者数 5人（浮世絵研究、文化財保存、建造物保存、国文学・民俗学、埋蔵文化財の学識者）

イ 栃木市文化マイスターの認定

本市の文化面の各分野で調査研究・活動を重ねている団体や個人に申請をいただき、文化マイスターの称号を授与し、自身の活動の励みとしてもらうとともに市や地域の各種事業等へ支援、協力をいただくことにより、栃木市の文化を伝え広め文化振興を図る。

- ・認定者数 団体 12団体
個人 11人

ウ 文化検定の実施

基本書となるガイドブックを作成し市内の文化を広く紹介するとともに、更に詳しく学べる場として分野ごとに市民を対象とした講座を開設し、講座受講生だけでなく受験できる検定試験を実施することにより市民の文化に対する意識高揚を図る。

平成26年度から文化検定を実施するに当たり、平成25年度は、「とちぎガイドブック」を作成した。

(3) 栃木市ふるさと文化振興基金

本市の多くの優れた文化遺産を守り、豊かな芸術文化を育むため、栃木市ふるさと文化振興基金を設置し、市民からの協力をお願いしている。

- ・栃木市ふるさと文化振興基金状況 (単位：円)

個人からの寄附	4人	寄附金額	170,000
団体からの寄附	5団体	寄附金額	129,074

計 (A)	299,074
基金利子	59,350
繰出金 ※	△800,000
計 (B)	△740,650
小計 (A + B)	△441,576
前年度基金額 (C)	50,718,088
基金合計 (A + B + C)	50,276,512

※繰出金内訳：美術作品の購入費（1点）

(4) 第23回山本有三記念「路傍の石」俳句大会

俳句を通して小中学生の豊かな心を育むとともに、本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰し、生きる力を身につけさせることを目的として、栃木県内及び友好親善都市である北海道滝川市の小中学校の児童生徒を対象に実施した。

- ・栃木市俳句協会及び特定非営利活動法人山本有三記念会との共催
- ・応募総数 14,649句

期 日	場 所	内 容
7月中旬～9月4日	—	作品募集
8月2日（金）	栃木市市民会館	審査員打合せ会
9月上旬～11月上旬	栃木市市民会館	30人の審査員による審査（第1次、第2次、本選）
11月17日（日）	国府公民館 大交流室ほか	俳句大会表彰式、こども俳句教室

(5) その他の芸術・文化振興関係事業

ア 後援関係

各種文化団体の開催する展覧会、演奏会、発表会等を後援した。

イ 県立博物館等の宣伝等

県立博物館その他の施設からの催物パンフレット・ポスター等の配布・掲示及び広報紙への掲載を行った。

ウ 栃木市文化活動協議会の設立

- ・設 立 日 7月1日（月）
- ・設立目的 加盟する文化活動団体及び個人を支援し、相互の連携強化と親睦融和を図るとともに、市民文化の振興を図る。
- ・活動内容 新春のつどい並びに団体間情報交換会を開催するとともに、各支部で実施する文化祭を支援した。

エ 栃木文化祭

- ・実施期間 9月～12月
- ・場 所 栃木文化会館ほか
- ・内 容 9月27日（金）のオープニングの集いを皮切りに、27の催しが栃木文化会館を主会場に盛大に行われた。

オ 第38回栃木県文化振興大会

第38回栃木県文化振興大会に参加した。

- ・実施日 2月8日(土)
- ・場所 芳賀町民会館
- ・内容 「地域文化の振興を目指して」のテーマのもと、県文化協会や県とともに本市教育委員会及び担当地域の文化協会等が主催者の一員となり、ウェルカムコンサート、記念式典、アトラクション、作品展及び呈茶等を行った。大会は県民・文化行政関係者・各市町文化協会員、出演者・スタッフ等、多くの方が参加・関与して、盛大に行われた。

2 文化会館関係

(1) 文化会館運営委員会会議

実施日	審議事項
6月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度実績報告について ・栃木市文化会館指定管理者募集要項について
1月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度からの文化会館の運営について
3月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度自主事業等経過報告 ・平成26年度事業計画について

(2) 栃木文化会館

ア 自主事業関係

事業名	実施日等	入場料	入場者数(人)
住民参加型 ホールの舞台で 〇〇してみませんか	5月3日(金)、4日(土)、 5日(日) 午前10時開演 会場：大ホール	1時間 3,000円	34
住民参加型 マラソンプИАノ in小ホール	7月13日(土) 第一部：午前10時～ 第二部：午後1時10分～ 会場：小ホール	無料	107
住民参加型 夏休み特別企画 親子バックステージツアー	8月10日(土)、11日(日) 午後1時～午後3時30分 【開催時間(90分)】 会場：大ホール	無料	55
共催事業 下野楽遊奏楽塾演奏会	9月29日(日) 午後1時30分開演 会場：大ホール	2,500円	201
住民参加型 マラソンプИАノ in大ホール	3月1日(土) 第一部：午前10時～ 第二部：午後1時10分～ 第三部：午後3時10分～ 会場：大ホール	無料	131

共催事業 「劇団IQ5000が栃木にやってくる」	3月7日（金） 午後6時開演 会場：大ホール	大人2,500円 学生1,000円 (当日200円増し)	72
-----------------------------	------------------------------	------------------------------------	----

イ 貸館事業関係

(単位：人)

月	大ホール	小ホール	展示室 (屋外展示場)	大会議室	会議室	和室	第一練習室	第二練習室	合計
4	5,714	1,910	1,752	921	325	145	485	121	11,373
5	2,144	2,250	2,507	1,132	298	209	452	114	9,106
6	7,173	2,745	1,689	1,791	556	356	918	147	15,375
7	6,750	3,586	1,771	1,254	290	187	863	265	14,966
8	1,183	2,472	1,010	1,024	206	125	631	135	6,786
9	7,660	3,024	2,049	1,642	432	153	998	298	16,256
10	4,138	4,134	2,027	1,946	474	290	674	230	13,913
11	7,221	4,165	2,543	1,989	374	175	653	211	17,331
12	4,790	2,203	445	1,493	259	334	576	272	10,372
1	2,090	1,235	1,164	916	291	182	542	251	6,671
2	5,395	1,279	2,387	763	292	149	450	44	10,759
3	5,566	2,543	2,485	1,693	521	155	706	187	13,856
合計	59,824	31,546	21,829	16,564	4,318	2,460	7,948	2,275	146,764
月平均	4,985	2,629	1,819	1,380	360	205	662	190	12,230

3 文化財保護関係

(1) 市文化財保護審議会関係

開催日	場 所	内 容
3月19日（水）	市役所402会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度主要事業について ・古久磯提灯店見世蔵修理工事について ・城内古墳群1号墳（円通寺境内）の取扱いについて ・栃木市市内文化財一覧について ・平成26年度主要事業計画について

(2) 文化財保護関係

ア 遺跡詳細分布調査（栃木・藤岡地域）補足調査

石碑類 1,600基

中世城館址調査も含む 25城館

イ 埋蔵文化財発掘調査（藤原遺跡、城内古墳群、栃木城）

ウ 埋蔵文化財照会、問い合わせ

・照会件数 791件

・発掘届け出件数 77件

・現地立会件数 51件

・確認調査 4件

・発掘調査 3件

エ 指定文化財説明板の修繕 5件

オ 下野七廻り鏡塚古墳出土品、黒漆塗り弓保存処理

カ おおひら郷土資料館「戸長屋敷」の出入り口壁修繕工事

キ おおひら郷土資料館母屋散水栓工事

ク おおひら歴史民俗資料館外階段手摺設置工事

ケ おおひら歴史民俗資料館AED設置

コ 岡田家所蔵岡田嘉右衛門文書の翻刻

『栃木の在村記録幕末維新期の胎動と展開』第2巻翻刻と校正作業

サ 県指定文化財「古久磯提灯店見世蔵」取得

古久磯提灯店見世蔵修繕工事

(3) 文化財保護施設関係

ア 下野国庁跡資料館

発掘された実物の瓦・漆紙文書、下野国印（推定）、木簡のレプリカ、下野国庁復元模型ほか槍^{やり}鉋^{がんな}等の古代の大工道具等を展示している。

また、国庁跡全域を会場に「下野国庁まつり」を3月9日（日）に開催し、下野国庁跡の周知及び、伝統的な郷土芸能の演舞による地域文化の伝承と振興を図り、併せて特産物の販売等を実施した。

・開館日数 253日

・入館者数 2,130人

イ 栃木市郷土参考館

郷土の産業・教育・日常生活資料、文化財等を展示している。

・開館日数 308日

・入館者数 9,881人

ウ 星野遺跡地層たんけん館・憩の森

星野遺跡のEトレンチの地層を展示しているほか、出土した石器等を展示している。

・開館日数 308日

・入館者数 5,240人

エ 藤岡歴史民俗資料館

篠山貝塚、藤岡神社遺跡、山王寺大柵塚古墳出土遺物、田中正造、旧谷中村などの資料を展示している。

・開館日数 306日

・入館者数 2,340人

・調査・回答件数 244件

・団体案内 15件

・資料貸与 8件

・資料受入 4件

・埋蔵文化財照会 2件

喜多川儀久家文書、志鳥正樹氏所蔵かな半旅館文書目録作成を実施した。

オ おおひら歴史民俗資料館・おおひら郷土資料館「戸長屋敷」

国指定重要文化財の下野七廻り鏡塚古墳出土品を中心に大平地域からの出土遺物などを展示している。

・開館日数 304日

・入館者数 10,017人（内、有料入館者 7,794人）

事業名	実施日
県民の日協賛無料開放	6月15日（土）
オリジナルイベント	6月16日（日）
夏休みイベント「昆虫探検隊」	7月27日（土）
戸長屋敷夏休みイベント 「龍吐水と土蔵のからくり探検」	8月24日（土）～25日（日）
邦楽演奏とお茶会	11月10日（日）
紅葉茶会と民話の会	11月23日（土）
クリスマスイベント ・イルミネーション ・クリスマスリース作り ・蓄音機で聴くSP盤クリスマス音響と名曲	12月21日（土）～12月23日（月）
戸長屋敷のひな祭り	2月11日（火）～3月3日（月）
ハレの日の漆器展	2月1日（土）～6月1日（日）
石川常四郎コレクション展示	7月20日（土）～8月18日（日） 8月31日（土）～9月29日（日） 10月12日（土）～11月10日（日） 1月4日（土）～2月2日（日） 3月1日（土）～3月23日（日）

(4) その他の企画

ア 石器づくり・化石さがし体験教室

・実施日 11月23日（土）

・実施場所 星野遺跡憩の森（星野町）葛生化石館（佐野市）

・参加者数 24人

(5) その他

- ・文化財等の調査、保護、活用等
- ・郷土資料の収集管理等
- ・下野国庁跡資料館男子トイレ自動水栓修繕工事
- ・星野遺跡憩の森井水ポンプ修繕工事
- ・星野遺跡憩の森浄化槽修繕工事
- ・星野遺跡憩の森電灯設備工事
- ・藤岡歴史民俗資料館外階段手摺設置工事

- ・藤岡歴史民俗資料館タイル張通路防滑工事
- ・都賀歴史民俗資料館照明器具修繕工事

学芸推進担当

1 とちぎ蔵の街美術館関係

(1) とちぎ蔵の街美術館入館状況

魅力的な多彩な展覧会を開催するため、平成 21 年 4 月 1 日から指定管理者制度を導入し、各展覧会を開催した。

また、栃木市出身で、平成 25 年 1 月に 101 歳で逝去された柴田トヨさんの半生を描いた映画「くじけないで」の公開を記念し、「とちぎが生んだ詩人 柴田トヨ回顧展」を開催した。

- ・開館期間 4 月 13 日（土）～3 月 23 日（日）
- ・展覧会別入館状況

展覧会名	開館日数 (日)	観覧者 総数 (人)	有料観覧者 (人)				無料観覧者 (人)	
			一 般	小中学生	チラシ割等	共 通 券	招 待	減免等
企画展 「近代竹工芸の誕生」展 4 月 13 日(土)～6 月 2 日(日)	44	3,256	1,302	76	225	716	783	154
企画展 「花の美学」展 6 月 15 日(土)～7 月 28 日(日)	38	2,142	715	69	181	354	356	467
企画展 「谷内六郎」展 8 月 10 日(土)～9 月 29 日(日)	44	3,200	1,431	138	216	588	593	234
企画展 レオナルド・ダ・ヴィンチ —知られざる科学技術の世界 10 月 12 日(土)～11 月 10 日(日)	26	1,493	502	32	197	441	238	83
映画「くじけないで」公開記念 とちぎが生んだ詩人 柴田トヨ回顧展 11 月 16 日(土)～12 月 8 日(日)	20	3,820	1,570	40	352	313	1,266	279
企画展 「福徳円満」展 12 月 21 日(土)～1 月 26 日(日)	27	987	306	12	77	226	307	59
企画展 「掌の宇宙に、曼荼羅の花咲く」展 2 月 8 日(土)～3 月 23 日(日)	37	1,355	491	56	51	391	312	54

計	236	16,253	6,317	423	1,299	3,029	3,855	1,330
---	-----	--------	-------	-----	-------	-------	-------	-------

・月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	有料観覧者(人)				無料観覧者(人)	
			一般	小中学生	チラシ割引等	共通券	招待	減免等
4	15	779	310	45	75	149	168	32
5	27	2,235	894	31	136	538	525	111
6	16	1,272	345	2	105	229	192	399
7	24	1,112	471	67	90	151	254	79
8	19	1,234	567	111	61	199	163	133
9	25	1,966	864	27	155	389	430	101
10	17	891	255	4	120	349	109	54
11	22	2,950	1,227	56	326	325	800	216
12	14	1,655	655	17	132	113	639	99
1	20	804	241	7	67	174	263	52
2	17	401	169	10	7	111	89	15
3	20	954	322	46	44	280	223	39
計	236	16,253	6,320	423	1,318	3,007	3,855	1,330

(2) とちぎ蔵の街美術館運営協議会

美術館の運営を円滑に図るため運営協議会を開催した。

開催日	内容
9月20日(金)	平成24年度展覧会実績報告及び平成25年度の展覧会について
3月26日(水)	平成26年度の展覧会について

(3) とちぎ蔵の街美術館美術資料評価委員会

美術作品購入及び寄附の受け入れにあたっての評価委員会を2回開催した。

- ・開催日 8月23日(金)、1月31日(金)
- ・場所 榊高崎倉庫(群馬県高崎市)
- ・内容
 - 第1回(8月23日(金))
 - ・寄附作品 板谷波山「天目茶碗 銘 星月夜」
 - 飯塚琅玕斎「竹茶杓」
 - 飯田清石「花籃 雲海」「花籃 間垣」
 - 田中一村「白梅図」「藤図」
 - 第2回(1月31日(金))
 - ・購入作品 田中一村「武陵桃源図」
 - ・寄附作品 橋本邦助「男沼の秋」外12点
 - 清水保男「第二公園の躑躅」外5点

渡辺達也美術資料一式

(4) 新収蔵品展

市が平成21年度から平成24年度までに購入、寄贈・寄託いただいた喜多川歌麿、歌川広重らの浮世絵版画や飯塚小玕齋の竹工芸品、市ゆかりの作家の作品等、36点を展示する「新収蔵品展」を開催した。

- ・実施日 5月4日（土）～5月7日（火）
- ・場 所 栃木文化会館 展示室
- ・来場者 1,192人

(5) 「とちぎが生んだ詩人 柴田トヨ回顧展」関連イベント

市民が主体となって組織された「詩人柴田トヨ回顧展実行委員会」が中心となり、関連イベントを開催した。

ア トークショー「柴田トヨの思い出を語る」

- ・実施日 11月8日（金）
- ・場 所 栃木文化会館 小ホール
- ・来場者 250人
- ・出演者 押田雅治氏（産経新聞社）
柴田健一氏（柴田トヨさん御子息）
村上ゆき氏（シンガーソングライター）

イ 詩の朗読とハーモニカ演奏でつむぐ柴田トヨの世界

- ・実施日 11月17日（日）、24日（日）、12月1日（日）、8日（日）
①午前11時 ②午後1時30分（各回約30分）
- ・会 場 蔵の街観光館2階多目的ホール
（12月1日のみ蔵の街観光館2階フロア）
- ・来場者 8回合計520人（平均65人）

ウ 路地裏散歩 詩人 柴田トヨの住んだ町を歩く

- ・実施日 11月23日（土）、30日（土）
午前10時～午後12時30分
- ・場 所 新栃木駅集合／とちぎ蔵の街美術館解散
- ・参加者 2回合計36人（平均18人）

エ 映画「くじけないで」上映会

- ・実施日 11月28日（木）
- ・場 所 栃木文化会館 大ホール
- ・来場者 423人
- ・その他 映画「くじけないで」の上映開始前に、深川栄洋氏（映画「くじけないで」監督）による舞台挨拶を行った。

2 喜多川歌麿関係

(1) 「吉原の花」高精細複製画

市では「雪月花」三幅を再び本市に展示したいという思いから、平成24年度にフリーア美術館（アメリカ・ワシントン D.C.）に所蔵されている「月」の高精細複製画を、

平成 25 年度にワズワース・アセーニウム美術館（アメリカ・コネチカット州ハートフォード）に所蔵されている「花」の複製画を制作した。

また、完成を記念して、市の歌麿を中心とした文化・芸術のまちづくりについて、広く周知することを目的としてイベントを開催し、250 人の来場者を集めた。

- ・実施日 10 月 20 日（日）
- ・場 所 栃木文化会館 小ホール
- ・内 容 第 1 部 講演会 浮世絵の魅力―「吉原の花」と錦絵の黄金期
講 師 田辺昌子氏（千葉市美術館学芸課長）
第 2 部 歌麿の描いた「花」の情景をイメージした三味線・小唄・踊り
- ・その他 イベント終了後、「吉原の花」高精細複製画の市内巡回展示を行った。

展示場所	期間（開館日数）	来場者（人）
太田家見世蔵（万町）	10 月 22 日（火）～11 月 11 日（月）（21 日間）	2,551
大平文化会館	11 月 13 日（水）～12 月 1 日（日）（17 日間）	1,411
藤岡公民館	12 月 3 日（火）～12 月 23 日（月・祝）（19 日間）	866
都賀文化会館	12 月 26 日（木）～1 月 13 日（月・祝）（9 日間）	625
西方公民館	1 月 16 日（木）～2 月 4 日（火）（20 日間）	450
	合 計	5,903

(2) 「品川の月」高精細複製画

平成 24 年度に制作した「品川の月」高精細複製画を、平成 24 年から平成 26 年 1 月まで、とちぎ蔵の街観光館で展示した。

- ・展示期間 平成 24 年 12 月 19 日（水）～平成 26 年 1 月 7 日（火）
- ・総観覧者数 31,264 人（平成 25 年度：25,403 人）

(3) 「月」・「花」複製画新庁舎展示

市役所新庁舎の開庁にあわせ、新庁舎 4 階に 2 月 10 日（月）から「月」・「花」両複製画を並べて展示した。また、「NHK 総合 歴史秘話ヒストリア」で両複製画が取り上げられ、放送以降、番組を見て来場される方を対象に、通常は平日のみ公開している両複製画を、3 月中は土・日曜日、祝日も市役所を開庁して両複製画を公開し、9 日間で 1,567 名が来場した。

(4) 歌麿まつり

浮世絵師喜多川歌麿と栃木市の関わりを市内外に広く周知するとともに、文化観光としての街中のにぎわいの創出を目的として、市民団体を中心とした実行委員会を組織し、講演会や歌麿道中のほか、関連イベントを開催した。

- ・実施期間 10 月 20 日（日）～11 月 3 日（日）
- ・場 所 とちぎ蔵の街大通りを中心とした街中周辺
（平成 25 年度は、「第 18 回蔵の街ふるさとまつり」との同日開催）
- ・参加人数 約 15,000 人